

神戸市では、平成27年9月に、神戸の都心の未来の姿【将来ビジョン】と三宮周辺地区の『再整備基本構想』を策定しました。その将来像の実現に向けて、現在取り組みを進めている都心・三宮の再整備に関する動きを紹介します。

西日本最大級の中・長距離バスターミナルを新たに整備します！

現在、三宮駅周辺では、中・長距離バス（他都市に向かう高速バスや空港バスなど）の乗降場が分散しているため利用者にとって非常にわかりにくいなどの課題があります。そこで分散しているバス乗降場を集約する新たなバスターミナルを、高速道路に近いなどアクセス性の良さを活かした場所に整備し、あわせてにぎわいを創出する都心にふさわしい都市機能の集積を図るための『新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通5-6丁目再整備基本計画（案）』を作成しました。



新たな神戸の玄関口にふさわしい、ユニバーサルデザインを取り入れた誰もが安心して利用できる施設にしていきます

基本計画（案）はホームページでご覧いただけます



新たなバスターミナルのイメージ（※三宮周辺地区の『再整備基本構想』より）



神戸らしさを演出する商業施設などが充実した待合空間



多言語に対応したバス目的地の観光案内



都心の立地を活かし、新たな魅力を備えた三宮図書館



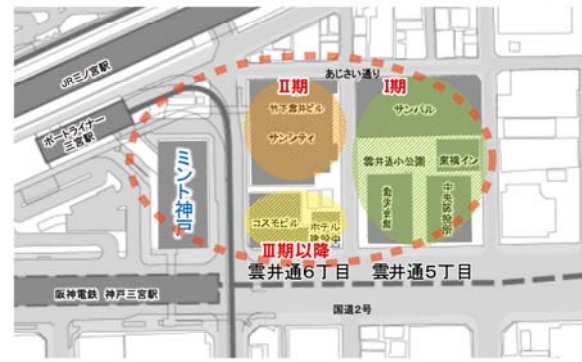
多様な催しが可能な大規模なホール



バスの旅をサポートする快適なパウダールーム



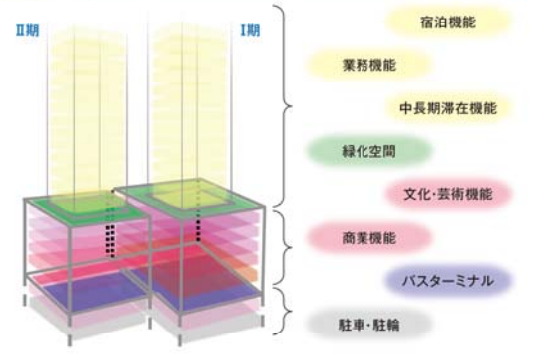
エリアをブロックに分け、段階的に進めていきます



○I期については、今後さまざまな手続きを経て、平成32年度末からの解体・新築工事の着工を予定。そして、平成37年度の供用開始を目指します。II期についてはI期完成後の事業着手を目指し、III期以降については将来需要をみながら具体化を検討します。
○よりスピード感をもって事業進捗を図るため、I期においては再開発会社施行方式による「市街地再開発事業」の実施を目指します。



文化、ビジネスなどいろいろな機能を集めていきます



○新たに建てる再整備ビルは神戸の玄関口にふさわしいデザインとし、神戸ならではの魅力を活かした新たな都市機能の集積を図ります。
○新たなバスターミナルではバスは1階、歩行者は地下道や2階デッキとするなどの安全対策や、バス出入口を分散することによる周辺道路の混雑解消などを図ります。

現在、基本計画の策定にあたり、意見を募集しています。詳しくは、裏面をご覧ください。

行政施設の移転方針 【位置図】①②③

新たなバスターミナルの整備予定地にある中央区役所や三宮図書館及び老朽化した市役所2・3号館などの行政施設について、新たなにぎわいや回遊性の創出、あるいは各施設の機能などについて、さまざまな方からご意見をいただきながら検討を進め、平成29年11月20日の市長会見で「行政施設の移転方針」をお示ししました。

	規模	機能	スケジュール（予定）
① 新たな中・長距離バスターミナル（I期）	旅行者が事業者協力者と協議のうえ決定	ホール機能（1,500席以上） 三宮図書館	平成32年度末解体着工 平成37年度供用開始
② 市役所新2号館	約50,000㎡ （1号館と同規模）	ホール機能（700～900席） にぎわい機能	平成32年度解体着工 平成37年度以降供用開始
③ 市役所3号館跡地（新中央区総合庁舎）	約18,000㎡ （現状と同規模）	中央区役所 勤労会館等	平成31年度解体着工 平成33年度供用開始



新港突堤西地区（第1突堤基部）再開発事業 【位置図】④

新港突堤西地区（第1突堤基部）における新たな魅力と活力ある都心・ウォーターフロントの創出に向け、文化・集客・業務・商業・住機能等の複合再開発を自ら実施する事業者の公募を行い、住友不動産株式会社が代表企業とするグループを、優先交渉権者として決定しました。

海・港から生まれるニュー神戸ライフスタイル —日本・アジア・世界へ発信—

1 文化施設棟

- AQUATIC（水・水族・アートが融合したアクアリウム）**
アートや植物と融合し、日本初の360度水槽を配した大人向けアクアリウム。大成建設が高精登録しているAQUATICの初プロジェクト
- ウェディングクラシックミュージアム**
○世界的服飾デザイナー桂由美氏のウェディングをテーマとしたミュージアム
○クラシックカーの展示を行うミュージアム



2 業務・商業棟

- クリエイティブラボ**
ライブラリー・アーカイブ、ホール、撮影スタジオ等、一般利用も可能な施設を含むラボ
- フェリシモ（オフィス）**
フェリシモ（ダイレクトマーケティング）の本社、「クリエイティブオフィス」、約440名が勤務

4 住宅棟

- 住宅**
新たな神戸の生活文化を発信するウォーターフロントの高質な住宅
- 商業施設**
オープンカフェ、生活利便店舗、クリニックなど
進出決定：LEPAN（ペーカリーカフェ）等

3 業務・商業棟

- BMWワールドミュージアム**
BMWの歴史や哲学、BMWを中心としたライフスタイル・ツーリズム発信機能
- BMWショールーム**
路面に面して解放感のあるショールーム。ライフスタイル発信機能と隣接していることで、新たな発見を呼び起こす

5 駐車場棟

- GLIONグループ（オフィス）**
GLIONグループ（BMWディーラー親会社）の本社、約200名が勤務
- BMWと連携し、BMW車等のレンタカー・カーシェアサービスを実施**

三宮再整備の基本計画（案）に関する意見募集

- 皆さんのご意見を募集しています。
- 神戸三宮「えきまち空間」基本計画（案）
 - 新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通5-6丁目再整備基本計画（案）

【郵送・持参】
〒651-0087 神戸市中央区御幸通6-1-12 三宮ビル東館6階
神戸市住宅都市局都心三宮再整備課（平成30年2月9日（必着））
持参の場合は平日の8時45分から12時、13時から17時30分の間
【ファックス】
078-222-1605 神戸市住宅都市局都心三宮再整備課
【電子メール】
①「えきまち空間」：ekimachi_ken@office.city.kobe.lg.jp
②新バスターミナル：bus-terminal_iken@office.city.kobe.lg.jp

※必ず提出者の住所及び氏名を記載してください。また、神戸市外にお住まいで、神戸市内に勤務・在学されている方は、事業所等又は学校の名称及び所在地を記載してください。提出される書式には、①②どちらの基本計画（案）に対してのご意見であるかを明記してください。

みんなの声でつくる東遊園地再整備プロジェクト

東遊園地では、広場の芝生化実験やアーバンピクニックなど様々な取り組みを行うとともに、再整備の検討を進めています。そのなかで、みなさんの声や想いを再整備に活かしていくために、ホームページ上でアンケートを行っています。みなさんの声で、東遊園地をもっと素敵な場所にしていきます。

アンケートはこちらから
東遊園地再整備プロジェクト 検索
問 建設局公園部計画課
TEL:078-322-5422

都心・三宮再整備に関するロゴマーク
神戸がかわる 都心再整備
都心・三宮の再整備の取り組みが一目でわかるよう、ロゴマークを作成しました。誰でも無料で使えます。使用に関しては、ホームページをご覧ください。

神戸市ホームページ ▶ 都心・三宮の再整備 検索 ▶ プロモーションサイト ▶ 神戸市ビジョン 検索

住宅都市局 都心三宮再整備課

〒651-0087 神戸市中央区御幸通6-1-12 TEL : 078-322-6934 / FAX : 078-222-1605 / MAIL : kobe-toshin@office.city.kobe.lg.jp

神戸市広報印刷物登録 平成29年度第640号 (広報印刷物規格A-1類)

神戸の象徴となる新しい駅前空間を創出します！

現在、三宮駅周辺は「乗り換えがわかりにくい」「駅から周辺のまちへのつながりが弱い」「玄関口にふさわしい特色ある景観がない」などの課題があります。そこで、三宮周辺地区全体の魅力を向上させる「えき=まち空間」の実現に向けて、このたび「神戸三宮「えき=まち空間」基本計画(案)」を作成しました。この基本計画(案)はその核となる「三宮クロススクエア」をはじめとする公共施設の計画や、民間施設に期待される機能や設えなどについて、官民共通の具体的な目標像及びその実現に必要な取り組みを示すことを目的としています。

「三宮」を印象付ける新しい顔をつくっていきます 周辺の「まち」の特性を踏まえ、人と公共交通優先の空間「三宮クロススクエア」を5つにゾーニングします。

基本計画(案)はホームページでご覧いただけます

山を感じる自然ゾーン
地下鉄西神・山手線三宮駅
うるおいと集いゾーン
象徴ゾーン
えき=まち空間
にぎわいゾーン
海へつながる環境ゾーン

神戸の玄関口にふさわしい美しい景観を創出していきます

「えき=まち空間」では、建築物と公共空間の一体的な景観のあり方として、「都市と自然が調和する景観」「神戸らしさを感じる「まちなみ形成」」「暖かみのある「夜間景観」といったまちのにぎわいや活気を誘発する景観形成に取り組みます。

「三宮クロススクエア」での景観形成イメージ

- 海や山、空への見通し景観に配慮したまちなみづくり
- 遠景、中景、近景に配慮した建築物のデザイン
- 公共空間と沿道建築物で構成するにぎわい
- 沿道の「まち」の個性を踏まえた、ゾーンごとの公共空間デザイン
- 壁面線の統一と軒線の設定による統一感のあるまちなみづくり
- 高層部のセットバックによる圧迫感の軽減や空間的な広がりの確保

みんなで力を合わせてまちの魅力をつくっていきます

「えき=まち空間」を神戸の玄関口にふさわしいにぎわいのある空間とするために、市民、民間事業者、行政など、多様な関係者の協働によって、公共空間の利活用、管理運営を行う「エアリマネジメント」に取り組みます。

エアリマネジメントのイメージ

経済活動団体、まちづくり協議会、市民、専門家、民間事業者、神戸市

多様な関係者の協働
公共空間の利活用・管理運営

提供されるサービスの種類
公共空間管理、にぎわい(利用)、広報、環境防災防犯、交通、ルールづくり

現在、基本計画の策定にあたり、意見を募集しています。詳しくは、裏面をご覧ください。

目標像

- 三宮の6つの駅があたかも一つの大きな「えき」となるような空間
- 「えき」と「まち」が行き来しやすく、より便利で回遊性を高める空間
- 美しく港町・神戸の玄関口にふさわしい象徴となる空間

「えき=まち空間」とは

「えき」(6つの駅とバス乗降場)と「まち、をつなぐ空間」のことです。その核として、三宮交差点を中心に税関線(フラワーロード)と中央幹線の一部において、人と公共交通優先の空間「三宮クロススクエア」を創出します。「えき=まち空間」の実現により、神戸に人やモノが集まり、新たな需要が生まれ、都心のポテンシャルを向上させることで、神戸全体のまちの活性化を図ります。

駅前を人が移動しやすい空間にしていきます

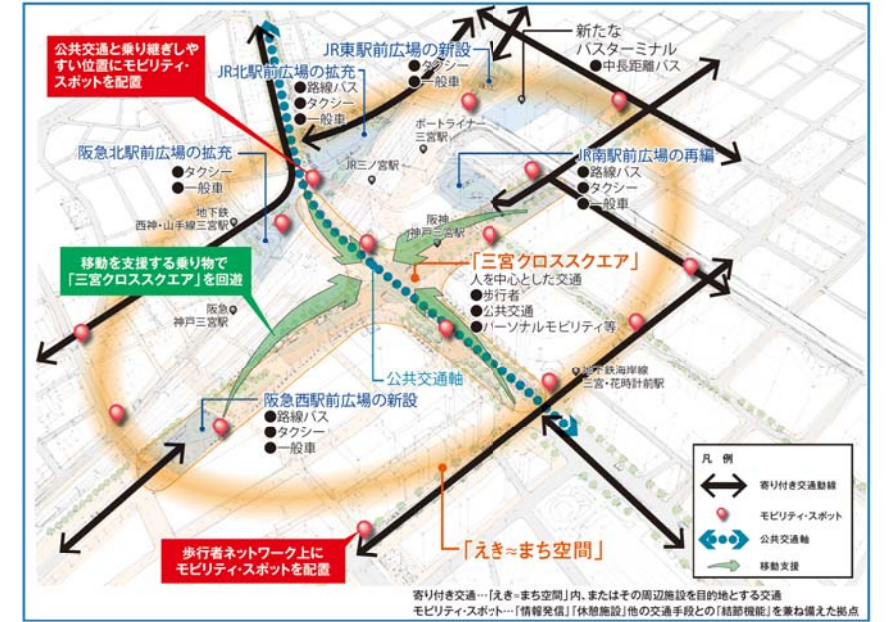
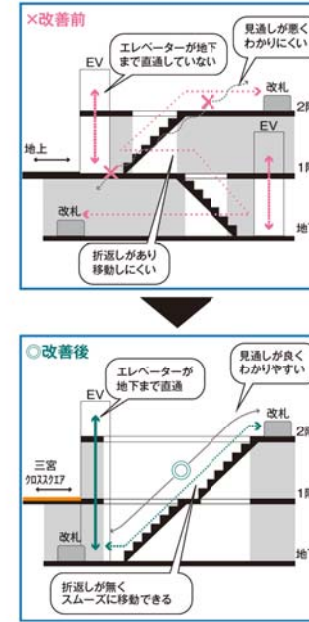
「えき」と「まち」を平面的にも立体的にもつなぐことで、高齢者や子育て世代の方など、誰にとってもより便利で回遊性の高い空間にします。

【歩行者交通】

- 「えき」から「えき」への乗り換えをわかりやすくし、誰もが移動しやすい動線を確保します。
- 歩行者空間を充実し、「えき」から「まち」への回遊性を向上させます。

【公共交通・自動車交通】

- 駅前広場を再編、拡充、新設し、「えき=まち空間」や交通結節点である駅まで近寄りやすい環境を整備します。
- 「えき=まち空間」内に移動支援の拠点を設け、誰もが移動しやすい環境を整備します。



いろいろな視点から交通体系を見直していきます

「えき=まち空間」を含む都心を歩行者が中心のまちにするため、総合的な交通体系を、3つの視点から考えます。「自動車交通のマネジメント」、「歩行環境の向上」及び「公共交通など多様な交通手段の確保」に取り組みます。



「三宮クロススクエア」は東側から段階的に整備を進めていきます

「えき=まち空間」は、公共事業、民間事業ともに段階的に進んでいます。なかでも、「三宮クロススクエア」については、社会実験や周辺の交通対策を行いながら、徐々に車線を減少し歩道を拡幅していくなど、段階的に進めていきます。



関係機関と相談・協議を進め、「えき=まち空間」の実現に向けて取り組みます。